

西南学院史資料センター開設記念 企画展



3人のドージャーク からのメッセージ

The Words of Three Doziers

2016年

2017年

10月22日(土)～1月20日(金)

会場 / 西南学院百年館(松緑館)
企画展示室

時間 / 平日 9:00～17:00
(最終入室は16:30)

土曜日・祝日 9:00～19:00
(最終入室は18:30)

休館日 / 日曜日、キリスト降誕祭(12月25日)、
年末年始(12月28日～1月5日)

主催 / 西南学院史資料センター

入場
無料

第9代 院長
E. B. ドージャー

創立者・第2代 院長
C. K. ドージャー

第2代・第5代
舞鶴幼稚園園長
M. B. ドージャー



西南学院
百年館(松緑館)
2016年10/22(土)
オープン



西南学院は2016年に創立100周年を迎えました。

西南学院

西南学院 100年の歴史と精神 受け継がれるドージャーの想い

西南学院史資料センター開設記念 企画展

3人のドージャーからのメッセージ

■開催期間／2016年10月22日(土)～2017年1月20日(金) 企画展示室

西南学院の創立者であるC.K.ドージャーには、妻のモードと息子のエドウィン、娘のヘレンがいました。ケルシとモード、エドウィンは、西南学院の発展に大きく寄与しました。創立者のケルシ、女子・幼児教育の必要性を説いたモード、戦後の学院復興に努めたエドウィンの精神的背景にはキリスト教がありました。本企画展は、3人のドージャーが残した言葉を手掛かりに、彼らがいかにしてキリストに従い、建学の精神を体現したかを紹介します。



創立者・第2代 院長
チャールズ・ケルシ
C. K. ドージャー
(1879-1933)



第2代・第5代 舞鶴幼稚園園長
モード・ドージャー
M. B. ドージャー
(1881-1972)



第9代 院長
エドウィン・ドージャー
E. B. ドージャー
(1908-1969)

企画展
シンボル
展示

C. K. ドージャーが 使用していたデスク

西南学院の院長ケルシが使用した机。天板には「C. K. DOZIER」の銘板がつけられています。長崎で製作され、机の両脇の側部には観音片開きの扉があり、そこにも物を収納できるのが特徴です。右側引き出し最下部に修理した跡がみられ、1969年の学生運動の際に破損を受けたと考えられます。ケルシが、様々な思いで執務に当たった机は、学院において現在まで大切に保管されてきました。



パースはイメージです。

〈 1章 〉

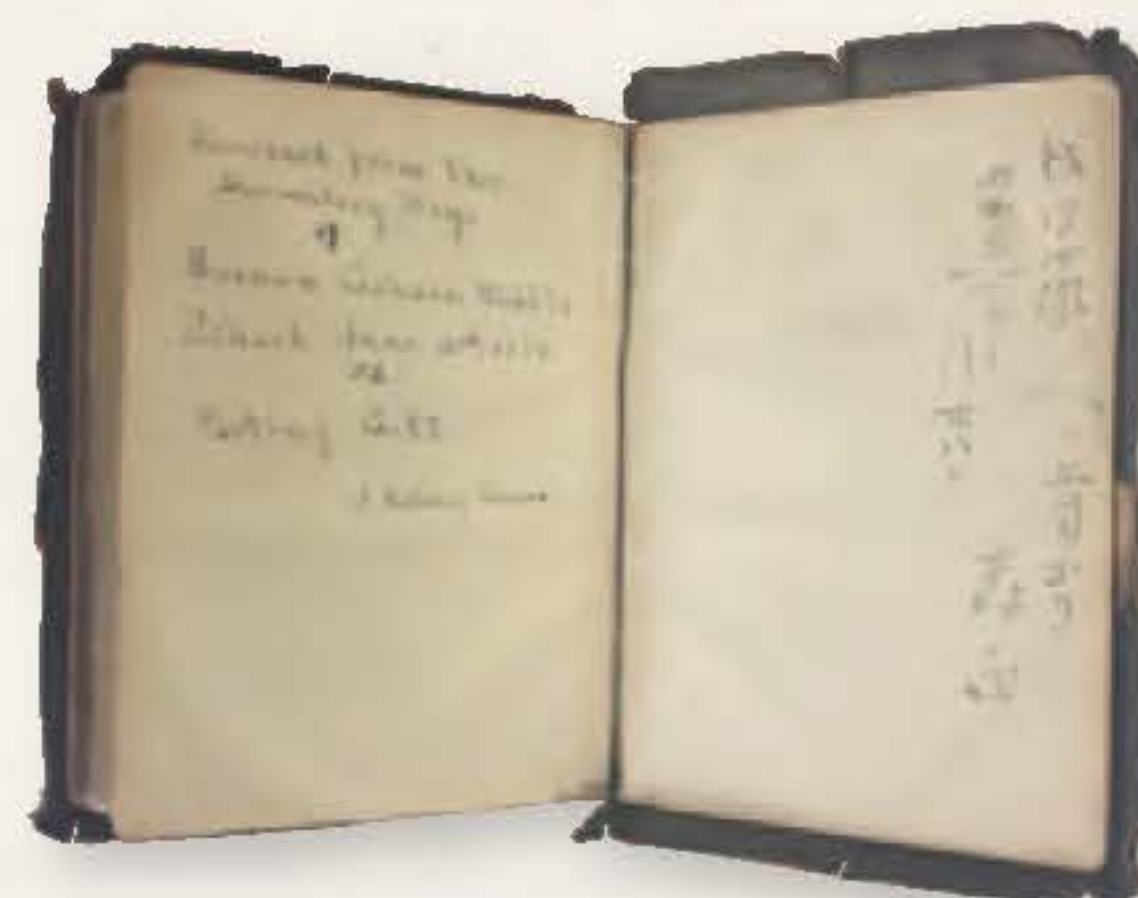
西南よ、キリストに忠実なれ

～ 創立者C. K. ドージャー ～

ケルシは、中学部や高等学部雑誌などで、学院の理想や、学生生活のあり方を伝えています。これらは、キリストを心にとどめ、実生活でそれに従うことを勧めるものです。ケルシのこうした教えとして、1933年、天に召される際にこの言葉を遺しました。



「西南よ、キリストに忠実なれ」扁額
ケルシが遺した言葉は、
建学の精神として受け継が
れ、学長室等に掲げられて
いる。



C. K. ドージャーの聖書
1929年6月30日に学生がケ
ルシに記念として贈った日
本語旧約聖書。表紙の見
開きにケルシ直筆のサイ
ンがある。

〈 2章 〉

あなた方は、 地の塩・世の光である

～ M. B. ドージャーと女子・幼児教育 ～

モードは、特に女性へのキリスト教教育に関心を持ち、西南保母学院(人間科学部児童教育学科の前身)開設に尽力します。彼女は、日本における幼児教育は母親によってなされていると気づき、地の塩となり世の光となるべき女性の教育を目指しました。そして1940年、西南保母学院の開校式において、その基本の方針としてこの言葉を残しました。



児童教育科35年のあゆみ
女子教育に情熱を注いだモ
ードの苦勞を知ることのできる資
料。モードが語った保母学院
の理念が記されている。



伝道者の妻
モードが80歳の時の著書。伝
道者や宣教師の妻のあるべ
き姿や家庭教育の重要性を
記している。

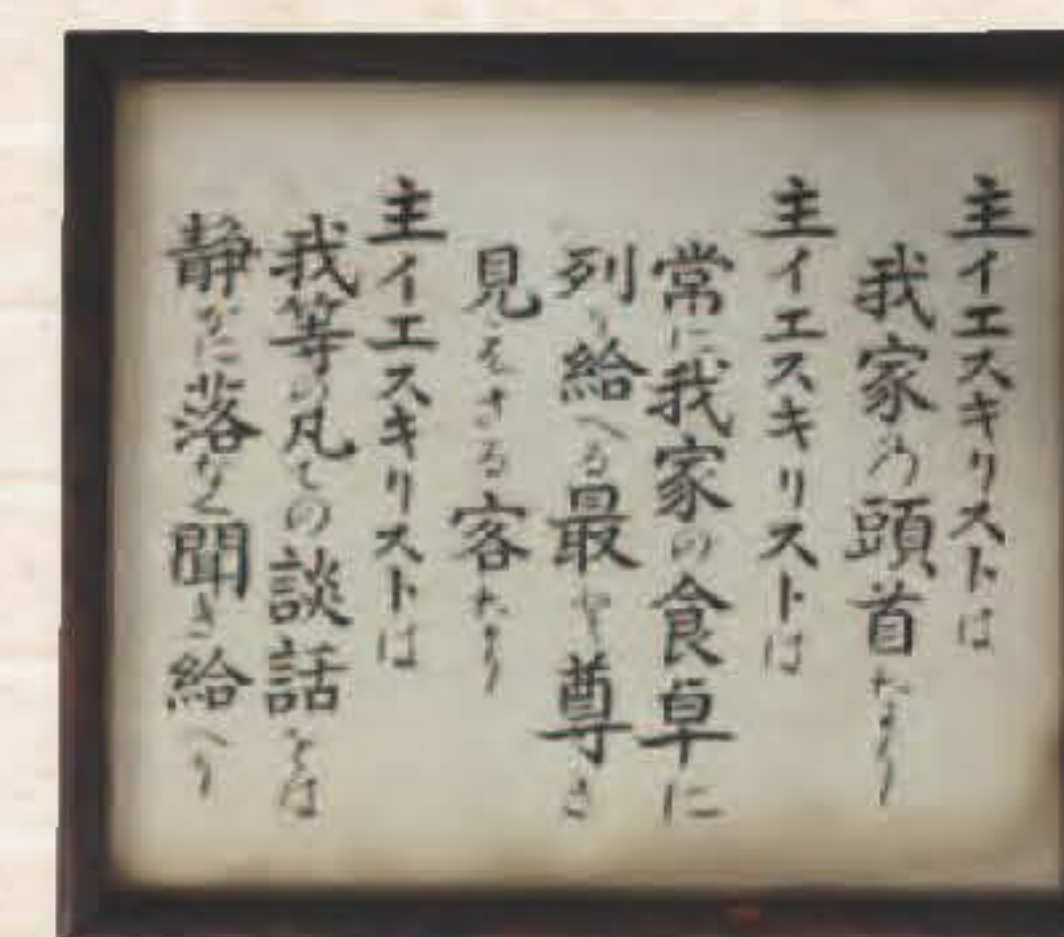
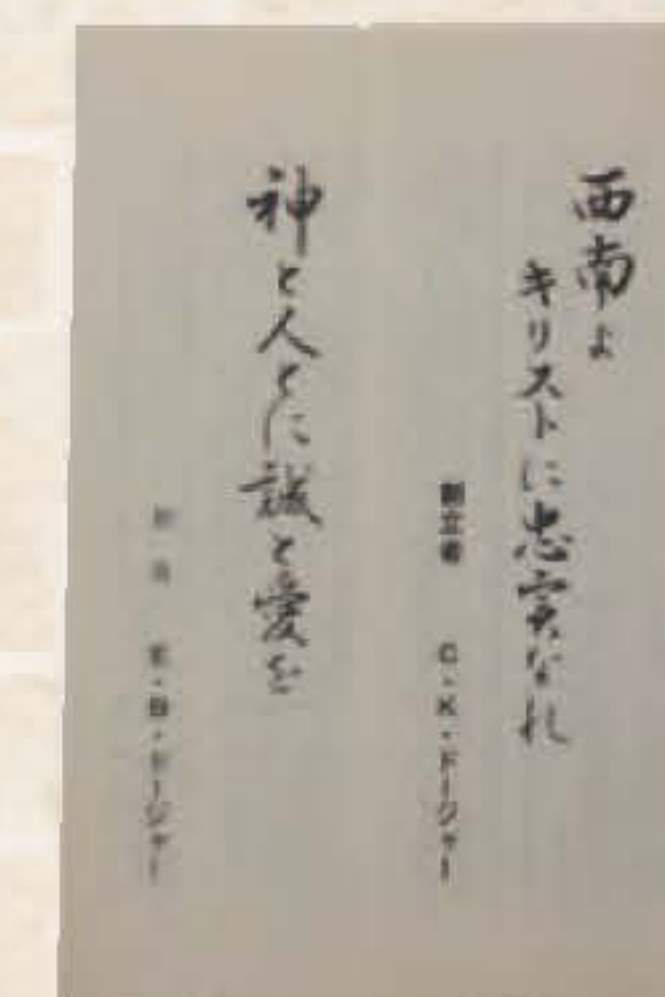
〈 3章 〉

神と人との誠と愛を

～ E. B. ドージャーと戦後の復興 ～

エドウィンは、戦前から宣教師として妻メアリー・エレンとともに働いていました。日米関係悪化のために、1941年、一時日本を離れることとなりますが、戦後、再び日本に帰ることができました。彼は日本バプテスト連盟の結成に尽力し、教会復興に精力的に取り組みました。西南学院で院長を務めた1969年、大学紛争の収拾に努めていたなか、この言葉を残しました。

神と人との誠と愛を
エドウィンは、建学の精
神を「神と人との誠と
愛を」と発表した。



ドージャー家の壁掛け
書は下瀬加守によるもの
で、エドウィン家に長年飾
られていた。

The Words of Three Doziers

西南学院史資料センター 常設展

■展示場所／エントランスホール

「西南学院史資料センター 常設展示・閲覧室」

西南学院史資料センターは、学院創立100周年を機に建学の精神を継承することを目的に設置されました。学院の歴史を検証し、その成果を学内外の皆さまに発信します。資料センターには、常設展示があり、そこでは学院を「学院の創立」、「学生生活」「キリスト教教育」「特色ある教育」といった4つの視点から紹介します。また、資料センター閲覧室も設けており、これまで収集・保存してきた歴史的資料を閲覧することができます。

資料センターはこれまでの歩みを振り返りながら、その伝統を「紡ぐ」施設として、皆さまから親しまれる交流拠点となるよう目指していきます。



パースはイメージです。

「西南クロニクル映像」

企画展示室にある「クロニクル映像」では西南学院の100年の歩みを写真や地図で紹介합니다。メインスクリーンでは、学院の歴史を写真で、サブスクリーンでは、地図上で学院の変遷をたどります。



パースはイメージです。

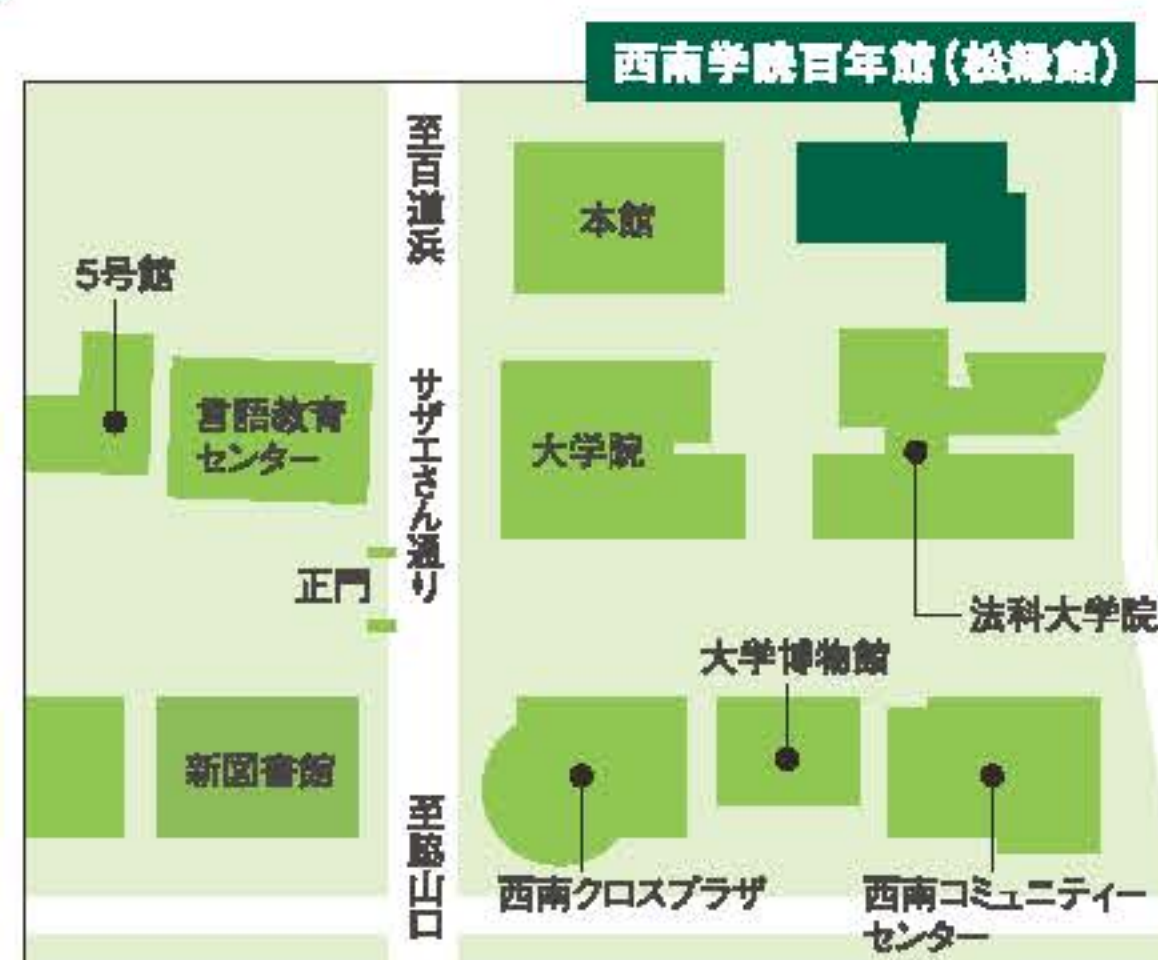


1921年中学部第一回卒業生



学院の変遷をたどる年表と地図

■西南学院百年館(松緑館)／1F 西南学院史資料センター



アクセス

地下鉄 福岡空港 → 西新駅下車……約17分
博多駅 → 西新駅下車……約12分
天神 → 西新駅下車……約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分

バス 博多駅バスセンター → 修猷館前……約35分
天神 → 修猷館前……約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分

タクシー 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約15分



西南学院史資料センター

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号
TEL 092-823-3920 FAX 092-823-3184
E-Mail: swarc@seinan-gu.ac.jp